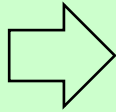


適期栽培管理で高品質な美味しい農産物の生産 ～中川久命～

経営体の概要

着工当時：平成3年頃
基幹作物：水稲、かき（柿）
そば、大豆
経営面積：0.8 ha



現在：令和3年
基幹作物：水稲（酒米を含む）、かき（柿）
西洋なし、アスパラガス
経営面積：1.5 ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営かんがい排水事業により農業用水の安定供給がなされるとともに、関連ほ場整備事業が推進されている。これまで、西洋なし（ル レクチェ）やアスパラガスの新規導入に取り組んできており、ほ場整備によって水田の労働時間が減少したことから、その余剰労力を柿や西洋なし、アスパラガスに振り向けることが可能となり、所得向上につながった。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

基本に沿った管理を適期に着実に実施することを心がけており、米はフェーン現象時の間断かんがいの実施等、柿は大玉化のため早期の摘蕾摘果の実施、西洋なし（ル レクチェ）は堆肥と酒米のあかぬか（酒米とう精時に発生する米ぬか）の施用や微量元素の供給、アスパラガスは有機質堆肥の施用や点滴チューブによるかん水の実施等により、品質の向上に努めている。



アスパラガスの点滴チューブ
によるかん水

②単収・品質の向上

アスパラガスは、長野、福島、山形等のアスパラガス栽培の先進地域での研修で栽培技術を取り入れ、4～5月だけビニール被覆するハウスでの半促成栽培や点滴かんがいにより、平成20年の初出荷時の200kg/10aから、800～1,000kg/10aの単収を達成した。今後は整備済みほ場の1箇所に集約し年間通じた栽培により、1,500～2,000kg/10aの単収を目指している。



整備済みほ場に植栽したアスパラガス

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：佐渡市
受益面積：3,396ha
事業期間：平成3年～平成25年
事業目的：用排水改良
主要工事：貯水池2箇所、頭首工1箇所、排水機場4箇所、用水路L=32.0km、排水路L=4.4km

位置図（新潟県）



佐渡地区

<問い合わせ先>

北陸農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：076-232-4725

（令和3年度調査時点）